



ジュニア 冬のJr防災士講座 開催！

～リュックに何を持っていく？ AEDをどう使う？～

1月7日(火)、町地域防災課主催で冬のJr防災士講座が行われました。町内小学4～6年生18名の子どもたちが参加しました。

今回のJr防災士講座では、主に4つの活動を行いました。活動の内容は以下の通りです。

①防災リュックの中身を検討しよう！

参加した子どもたちには、事前に次のようなお題が出されました。
富士山に噴火警戒レベル4が発令され、今後の状況によっては家族と一緒に避難することになりそうです。食料は持って来なくて構いません。必要なものを防災リュックに入れて準備してきてください。



中身の確認



防災リュックの説明

当日、子どもたちはグループ毎に準備してきた防災リュックの中身を発表し合いました。そして、それぞれ持って来た物を見比べながら、グループ毎に中身が一番良い状態だと思う防災リュックをつくりました。その後、全体で発表し合いました。最後に、一緒に活動した防災士の方が用意した防災リュックを見ながら、避難時に必要な物を専門的に教えてもらいました。

②備蓄食料を食べてみよう！

夏のJr防災士講座と同様に、昼食には備蓄食料を味わいました。中央公民館の地下和室で、子どもたちはお湯を注いで作れるラーメンとわかめごはんを食べました。午前中、活動を頑張った子どもたちはお腹も空いていた様です。美味しそうに食べていました。



昼食時の様子

③消防署による普通救命講習を受けよう！

午後からは、消防署の職員の方々に普通救命講習をしていただきました。子どもたちはグループに分かれて、応急救護の仕方を学びました。



普通救命講習の様子



④富士山噴火について学ぼう！

富士山噴火について富士山科学研究所の先生方に話をいただきました。立体模型を使って、実際に噴火をしたらどのように流れるか実験をしました。子どもたちは、万が一の時にどのように行動すればよいかを考えるよい機会になりました。

Jr 防災士講座活動報告展開催中！

2月2日(日)まで、活動報告展を実施します。ぜひお立ち寄りください。

【場所】

河口湖ショッピング
センター BELL
2階 休憩スペース



冬休み学習応援教室 開催！

寒さに負けず 頑張る子どもたちが大集合！！

冬休みははじめの2日間、町内の小・中学校で冬休み学習応援教室が開かれました。冬休みの宿題や学習の復習をしようと、たくさん子どもたちが参加しました。

学習応援教室は、町教育委員会が主催し、町教育センターが事務局を務めています。指導は、各校に配置されている町費負担職員、支援員、退職教員によって行われました。子どもたちは、各自持ってきた宿題や課題に取り組み、自分のペースで学習に集中することができました。分からないことがあると、指導者から丁寧に教えてもらうことができました。それぞれの学校で、寒さに負けずに頑張る子どもたちの姿が見られました。



子どものための「狂言」教室

河口小5・6年生 本物の舞台を鑑賞・体験



『柿山伏』を鑑賞

「狂言」は、日本を代表する伝統芸能の1つです。この「狂言」について、子どもたちが本物の舞台を鑑賞・体験する機会を設ける目的で、12月19日(木)に狂言教室が行われました。河口小5・6年生の子どもたちを対象に、“子供の為の「能・狂言」実行委員会”の方々が主催となって開催しました。

当日、子どもたちは小学校6年生の国語の教科書にも出てくる『柿山伏』を鑑賞しました。目の前で本物の狂言を見ることができ、子どもたちはとても集中して、時々笑いながら鑑賞していました。鑑賞が終わった後は、狂言の体験をしました。膝と足首をやや曲げた姿勢で腰の位置を変えずに歩く動きの“すり足”や立ったり座ったりする動き、狂言での笑い方や犬の鳴き声（ビョウ、ビョウ）など、狂言ならではの動きや表現を教えてもらいました。

今回、出演してくださった「大蔵流狂言 山本東次郎家」の山本さんからは、「外国の方々は、自分の国の文化や芸術をよく知っています。外国のことを学ぶのもとても大切ですが、ぜひみなさんも自分の国の文化や芸術をよく知り、大切にしていってほしいです。」とメッセージをいただきました。普段なかなか接することが少ない狂言にじっくりと親しむことのできた時間となりました。



狂言の動きに挑戦中